

大邱広域市、Red Hat で住民サービス用クラウド・プラットフォームを構築



ソフトウェアとサービス

Red Hat® Enterprise Linux®

Red Hat JBoss® Enterprise
Application Platform

Red Hat Virtualization

Red Hat OpenStack® Platform

Red Hat コンサルティング

大邱広域市は、250 万人の住民にタイムリーで適切なサービスを提供するために、Daegu City Cloud (D-Cloud) を構築する 3 段階のプロジェクトを開始しました。D-Cloud のためのスケーラブルでありながら安定したインフラストラクチャとして、同市は Red Hat のエンタープライズ・オープンソース・プラットフォームと仮想化テクノロジーを採用しました。一元的で標準化された環境により、大邱広域市はインフラストラクチャ運用コストを 36% 削減し、住民のサービス情報へのアクセスを単純化しました。



政府機関

約 **13,000 人** の自治体職員
250 万人 の住民

メリット

- ▶ 運用コストを 36% 削減
- ▶ インフラストラクチャの運用と管理を単純化
- ▶ 住民が情報やサービスにアクセスしやすくなる基盤を構築

「Red Hat のエンタープライズ・オープンソース・テクノロジーと専門家によるサポートがもたらす恩恵により、新しく革新的なクラウドサービスの基盤と、近い将来における他のクラウド・インフラストラクチャとの統合の基礎を築くことに成功しています」

大邱広域市
インフォメーション & システム担当チームリーダー
Yoon Chan 氏

「Red Hat と提携する決め手となったのは、製品の安定性、強力なパートナーエコシステム、および業界において好ましい事例があることです。エンタープライズサポートが利用可能であることも、このような重要なビジネス用途において、Red Hat をコミュニティ・オープンソースソフトウェアに代わる説得力のある選択肢にしていました」

大邱広域市
インフォメーション &
システム担当チームリーダー
Yoon Chan 氏

市民に適切でタイムリーなサービスを提供

250 万人を有する大邱市は、大韓民国で 3 番目に大きな都市です。交通の要所であり地域経済の中心であるこの都市では、住民は規制や告示、医療から財政支援に至るさまざまなサービスを市政に頼っています。

最近、同市はさまざまなベンダーのハードウェアで構成された数十年来の IT インフラストラクチャをクラウド・コンピューティングでモダナイズすることに決定しました。この新たな環境は、大邱市がハードウェアとソフトウェアのソリューションを標準化し、運用コスト (OpEx) を削減し、市民向けのオンライン・サービス・システムやアプリケーションをサポートするのに役立つと考えられていました。

2015 年からいくつかの行政機関が協力してクラウド導入のためのロードマップを構築しました。行政機関内部での使用を重視したモデルである G-Cloud を確立した後、大邱市は市民向けサービスのための環境である Daegu City Cloud (D-Cloud) の構築に動きだしました。

一元的で標準化された IT インフラストラクチャを Red Hat で構築

大邱広域市は、D-Cloud の安定的かつ応答性の高い基盤を構築するために、Red Hat のテクノロジーを採用することを選択しました。

「Red Hat と提携する決め手になったのは、製品の安定性、強力なパートナーエコシステム、および業界において好ましい事例があることです」と、大邱広域市のインフォメーション & システム担当チームリーダーである Yoon Chan 氏は述べています。「エンタープライズサポートが利用可能であることも、このような重要なビジネス用途において、Red Hat をコミュニティ・オープンソースソフトウェアに代わる説得力のある選択肢にしていました」と続けます。

同市は当初、新しいクラウドベースのサービス環境を構築するために、Red Hat Enterprise Linux、Red Hat JBoss Enterprise Application Platform (EAP)、Red Hat Virtualization を採用しました。Red Hat Enterprise Linux は、オンプレミス、クラウド、ハイブリッド環境において革新的な開発を実現するための、一貫性があり、セキュリティを重視した、信頼性の高い基盤を提供するエンタープライズ・オープンソース・オペレーティングシステムです。このソリューションに基づいて、Red Hat Virtualization は、仮想化およびクラウドネイティブなワークロードのための一元的なインフラストラクチャを提供します。Red Hat JBoss EAP は、大邱市が既存アプリケーションと新規アプリケーションのデプロイメントと管理をコントロールし、データとユーザーのセキュリティを強化し、大規模で高いパフォーマンスを達成できるよう支援します。

当初、同市は D-Cloud を 14 のワークフローで試験的に導入しましたが、すぐに追加のセキュリティとネットワーク機能に拡大しました。プロジェクトの第 2 段階である D-Cloud 2.0 では、15 のバックエンドシステムを Red Hat OpenStack Platform へ移行しました。Red Hat OpenStack Platform は一元管理によって IT オペレーションとアプリケーション提供を単純化するモジュール式プラットフォームです。2020 年と 2021 年、大邱広域市は D-Cloud を拡大し、追加で 16 の事業を対象としました。さらに PaaS (Platform-as-a-Service) の試験運用を開始、データとソフトウェアの管理を容易にするためにソフトウェア・デファインド・ストレージ (SDS) とソフトウェア・デファインド・ネットワーキング (SDN) を採用し、複数のポータル強化を完了しました。

同市のチームは実装から移行、強化に至るまで、プロジェクトを通じて Red Hat コンサルティングと緊密に連携していました。「移行プロセスにおけるハードウェア依存の問題は、Red Hat の専門的な指導により、すぐ解決できました。強いベンダー関係に支えられ、結果としてクラウドベースのインフラストラクチャの構築に成功しました」と Yoon 氏は述べています。

クラウド、アプリケーション、仮想化プラットフォームで IT コストとパフォーマンスを最適化

運用コストを 36% 削減

世界中の地方自治体にとって、可能な限り低い予算で効率的な運用を行うことが戦略的に必要なことがよくあります。大邱広域市は、同市が選択したテクノロジーをサポートするエンタープライズ・オープンソース・インフラストラクチャ基盤により、D-Cloud の運用コストを大幅に削減しました。

「Red Hat Virtualization と Red Hat Enterprise Linux により、仮想化環境を通じて機器やリソースを共有できるようになりました。その結果、リソースの取得コストは、複雑なレガシーシステムや、プロプライエタリー・ベンダーに縛られて必要なスケーラビリティのなかったアプローチと比べると、36% 低くなりました」と Yoon 氏は述べています。

インフラストラクチャの運用と管理を単純化

大邱広域市は、約 97 のワークフローと 50% を超える IT システムをクラウド化し、D-Cloud 環境を一元化して重複するタスクやプロセスを削減しました。Red Hat OpenStack Platform で部門を超えて標準化することで、管理者はインフラストラクチャのリソースをより効率的に管理することができます。

管理とバックアップの新機能でクラウド・インフラストラクチャを強化

同市の開発者とビジネスユーザーは、D-Cloud を通じて大邱市民にタイムリーで適切なサービスを提供するために必要な情報とリソースにアクセスできるようになりました。大邱広域市の D-Cloud 強化の次の段階は、現在計画進行中です。また、同市は最近 Kubernetes ベースのコンテナ・プラットフォームである Red Hat OpenShift® を採用し、IT サービス管理 (ITSM) 機能の最適化、クラウドベースのバックアップ機能の獲得、ソフトウェア・デファインドの自動データセンターの確立に取り組んでいます。

「Red Hat のエンタープライズ・オープンソース・テクノロジーと専門家によるサポートがもたらす恩恵により、新しく革新的なクラウドサービスの基盤と、近い将来における他のクラウド・インフラストラクチャとの統合の基礎を築くことに成功しています」と Yoon 氏は述べています。

大邱広域市について

大邱広域市は、8 つの行政区域と人口 250 万人を有する韓国で 3 番目に大きな広域市です。「幸せな市民と誇りある大邱」のスローガンのもと、約 13,000 人の公務員が市民に機会、ぬくもり、心地よさ、楽しさを提供することを目指しています。 <https://www.daegu.go.kr/>



Red Hat Innovators in the Open について

イノベーションがオープンソースの核心です。Red Hat のお客様は、オープンソース・テクノロジーを使用して、自社の組織だけでなく業界や市場全体も変化させています。Red Hat Innovators in the Open では、極めて困難なビジネス課題をエンタープライズ向けオープンソース・ソリューションで解決されたお客様の事例を紹介しています。貴社の事例も掲載してみませんか？ [詳細はこちら](#)



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザーであり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

| | | | |
|--|---------------------------|--------------------------|--------------------|
| アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com | インドネシア 001 803 440 224 | マレーシア 1800 812 678 | 中国 800 810 2100 |
| オーストラリア 1800 733 428 | 日本 03 4590 7472 | ニュージーランド 0800 450 503 | 香港 800 901 222 |
| インド +91 22 3987 8888 | 韓国 080 708 0880 | シンガポール 800 448 1430 | 台湾 0800 666 052 |

f [fb.com/RedHatJapan](https://www.facebook.com/RedHatJapan)
 t twitter.com/RedHatJapan
 in [linkedin.com/company/red-hat](https://www.linkedin.com/company/red-hat)

jp.redhat.com
 #F31082_0422

Copyright © 2022 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、JBoss、および OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。OpenStack® ワードマークと Square O Design は個別に、または一体として米国とその他の国における OpenStack Foundation の商標または登録商標であり、OpenStack Foundation の許諾の下に使用されています。Red Hat は、OpenStack Foundation と OpenStack コミュニティのいずれにも所属しておらず、公認や出資も受けていません。